

# 都小音研

令和6年12月12日第67巻448号

発行所  
東京都小学校音楽教育研究会

事務所  
東京都板橋区西台3-38-23  
板橋区立志村第五小学校

## 音楽の授業 楽しい！

東京都小学校音楽教育研究会  
副会長 上田 義孝  
(調布市立八雲台小学校長)

年の瀬になりました。各学校ではこの秋、音楽会や学芸会、連合音楽会など、様々な音楽に関わる行事や授業が行われ、先生方は、ご多用な日々だったことと拝察いたします。「指導計画通り進まなかった」とか「あの場面の表現をもっと高めていきたい」などと、授業を振り返りつつ、次の計画の修正をしながら、より良い音楽を目指して指導されてきたことと思います。

さて、先日ある勉強会で「音楽は好きなんだけど、音楽の授業はちょっと……」と子供が教室で言っているという話題になりました。なかなか奥が深そうで、考えさせられました。やはり音楽の授業は「音楽っていいな!」「楽しい!」「もっとやりたい!」という気持ちの子供たちがもてるような授業展開をすることが大事だと思います。そしてそのためには、教師自身が音楽の楽しさや良さを感じ、子供に伝えたいという思いをもつことが大切です。



学習指導要領にある小学校音楽の目標を振り返ると

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

とあります。この目標を達成するために、音楽の授業において、教師がねらいをしっかりともち、またその活動や楽曲を子供たちと一緒に楽しみ、そして、教師自身も指導していて楽しいと感じ、子供も教師もすてきな音楽が共有できた時、子供の学びに・心情に・感性に・情操にと結び付いていくのではないのでしょうか。

そのためには、子供たちのその日の授業に対する気持ちを、よく汲み取って授業をする必要があります。例えば、

- ・授業のねらいを、学びや楽しみを感じることでできる適切なもの(子供の実態にあったもの)にする。
- ・子供が考え、工夫した表現を認める。(教師の思った通りの表現にならなくても否定はしない)

このようなことが、大切だと考えます。

では具体的にどのように指導法を研鑽し、授業に結び付ければよいのでしょうか。

それは、指導教諭の授業を見て学んだり、様々な研究会の研究授業で学んだり、いろいろな先生とディスカッションしながら学ぶことなど、実践的なことから、見たり聴いたり、考えたりして学び、指導をすることが、効果的と考えます。もちろん書物を読んで学問的に研究・探求していくこともよいでしょう。教師が多様な指導法を学び実践することで、よりよい授業が展開でき、子供たちが「楽しい!」「もっとやりたい!」と感じることのできる、「わくわくする音楽の授業」を展開できるのです。

「次は音楽の授業だよ!何をやるのかな。楽しみだね。」「音楽の授業は楽しいね!」そんな子供の声が、多くの学校から聞こえてくる、そんな日を目指して、これからも都小音研メンバー全員で学び合い、高め合ってまいりましょう。

# ♪ 令和6年度 都小音研 ♪ 各種研究会 活動紹介

都小音研の、特色ある10の各種研究会の活動内容をご紹介します。ぜひ積極的に参加していきましょう。

## 指揮法研究会

本研究会は「子供の表現意欲を引き出す指揮法の工夫」をテーマに研究を進めています。今年度も普段の授業に生かす指揮の4つの視点を意識して、月例会や研究授業・合唱団の実践等を行っています。指揮が変わると子供の意欲や表現が変化することを実感することができます。行事や集会で、今の自分より少し自信をもって子供たちの前で指揮できるよう一緒に学んでいきましょう。 上田 真臣 (世田谷・祖師谷小)

## 編曲研究会

「児童の実態や学習に寄り添った編曲」について月に1回集まって研究を深めています。今年度は“音楽科での個別最適な学び”につなげていける器楽合奏教材の編曲をテーマに、授業や行事のために会員が編曲した楽譜を持ち寄り、映像や音源を聴いたり実際に演奏したりしながら学んでいます。

関口 遥 (渋谷・広尾小)

## 合唱研究会

約150名の会員が歌唱や合唱の授業や指導について研究をしています。年6本の授業研究、協議会では、少人数で活発な意見交換をし学んだことを互いに明日の授業に生かしています。2月の「合唱祭」では児童が合唱を発表する場を設け、ホール一杯に各校のエネルギー溢れる歌声が響きます。

後藤 朋子 (日野・平山小)

## 音楽授業研究の会

昨年度から音楽づくりア(ア)の研究を継続して、小さな音を聴いてペアで即興的に表現する活動が音に対する感覚を育むことを学びました。これからも低・中学年から活動を積み重ねて、高学年の子供の豊かな発想を引き出す教師の関わりを追究していきます。

伊藤 友貴 (江戸川・下鎌田小)

## 管楽器研究会

本研究会では、「バンド指導法」「実技研修」「管楽器を活用した授業」「情報共有」を柱に研究を進めています。時代の流れを見据えながらも、管楽器活動を通して育まれる力を信じて、より良いバンド活動の形を求めて情報を共有しながら、毎月の例会と夏季ゼミナールを通して、指導力の向上を目指しています。

田辺 昭子 (三鷹・高山小)

## 合奏研究会

美しい響きで演奏できる児童を育てつつ、技能の習得に差のある児童にも活躍の場が与えられ、意欲を引き出す指導の工夫を、外部講師による研修会や、部員による実技指導、楽曲や指導法の交流等を通して研究を進めています。ベテランと若手の先生方が一緒に悩みを共有し、実践を通して学んでいます。

長澤 かほり (江戸川・南葛西小)

## 即興表現研究会

「多様な音楽から音楽づくりの可能性を探る」をテーマに、今年度は「声のアンサンブル」に注目して教材研究しています。7月「言葉でリズムアンサンブル」、11月「ケチャに親しもう」の研究授業から学習展開や児童の作品分析等を行い、幅広い視野をもった音楽づくりの指導法を共に学んでいます。

藤井 小百合 (中央・久松小)

## 鑑賞指導研究会

楽しく深く学べる授業づくりを研究しています。前期は「にんぎょうのゆめとめざめ」の教材分析と検証授業、後期は音鑑研究委員の河崎秋彦先生から、日本の歌曲の教材分析や指導法を学び、「待ちぼうけ」での研究授業を行います。毎回のハイブリッド開催で、無理なく研究できるようにしています。

井上 奈々 (千代田・千代田小)

## 邦楽教育研究会

今年も教職員研修センターの連携研修会で、箏を取り入れた授業実践を入門編1つと展開編の2つの計3つに分けて、実践事例を紹介しました。さらに薩摩琵琶や二十絃(箏)の実技研修を行ったり、周年記念式典に向けた和楽器を取り入れた器楽合奏を見学したりしながら邦楽教育についての研修を深めています。

豊田 美千子 (荒川・第二瑞光小)

## 電子楽器研究会

「子供がすすんで取り組める豊かな響きのアンサンブルを求めて」をテーマに研究しています。前期は、初山正博先生編曲の『ストドラパンパ』を教材に取り上げて教材分析、指導計画・ワークシートの作成、検証授業・研究協議を行いました。後期は会員の実践事例の紹介をし、表現の工夫の指導法について研究を深めていく予定です。

陸田 祐子 (世田谷・城山小)

\*連絡先・定例日は都小音研名簿P.74をご覧ください。

## 演題：〈教員・作曲家〉視点での授業づくりの切り口

講師：埼玉県所沢市立中央小学校教諭・鈴木楽器ケンハモ認定講師・作曲家 松長 誠 先生

授業づくりの視点・教師の役割の原点は、授業前の深い教材研究と授業中の教師の発問や声掛けにある。音楽科の目標の「表したい音楽表現の技能」を身に付けるために、児童の必要感をどれだけ高められるかが重要である。また、「音楽活動の楽しさを体験」するためには、①教師が作り出すもの、②教材力、③子供観、のバランスが重要であり、子供たちと接する中で教材は生まれる。



### ○授業づくり・教材研究の実際

#### 〈歌唱教材性の判断〉

- ・歌詞の内容は、子供の心情・経験に合っている教材か。
- ・音楽的な見方・考え方が働かせやすく、表現を深めやすい教材か。
- ・技能は、児童の実態に合っている教材か。
- ・過去に取り組んできた合唱曲との曲調の重複はどうか。斉唱と合唱（掛け合いや重なり）の様々なパターンを6年間で網羅する。

#### 〈教師の言葉選び〉

- ・「歌ってみましょう」（教師主導の言葉掛け）、「歌えそうな人はいますか？」（児童の意欲をベースにした言葉掛け）、「もう1回、歌う必要のあった部分はどこですか？」（児童に方略や必要感を問う言葉掛け）
- ・好きな歌詞が思いつかない児童もいるため、「あなたは歌詞のどこが好きですか？」ではなく、「作曲家が特に大切に思ったと思う歌詞はどこだと思いますか？」と聞くことが必要である。
- ・「リズムが合っているよ／合っていないよ」（診断的評価：診断して終わり、これ以上もこれ以下もない言葉掛け）、「リズムがもう少しで合いそうだね。前と比べて～だね」（形成的評価：まだ先があることを示唆しつつ／過去と比べて、意欲付け・称賛する言葉掛け）、「（拍をとるなどして）リズムの合わせ方を工夫したんだね」（行為への評価：何合目かどうかよりも、行為自体を評価）
- ・「どう盛り上げて歌いたいかな、手を上げ下げしてみましょう」（音楽の可視化、体を動かす活動）

#### 〈マネジメント時間を音楽時間に変える歌教材〉

♪「レッツゴー、けんハモ（リコーダー）」 ♪「けんハモ、またね」 松長 誠 作曲

- ・準備や片付けの時に、歌口、姿勢といった基本事項をおさえながら、指導事項を歌で覚えられ、マネジメント時間を音楽量に変えることができる。

#### 〈教材力で活動を支援する鍵ハモ・リコーダーの教材〉

♪「やさしい息で」（ヒーリングブレスバージョン） 松長 誠 作曲

- ・やわらかい音色の習得には、教材の雰囲気も大切である。音楽の可視化（白玉音符の広がり、拍間）や、音楽と一緒に動く楽しさがあり、何度も取り組みたくなる仕掛けがある。5音音階の黒鍵で演奏することで、技能に依らず誰もが安心して学べる教材となっている。

♪「ゴーゴーアドリブ」 松長 誠 作曲

- ・出席番号、奇数・偶数など、アドリブ演奏を支援する動画教材である。こちらも5音音階の黒鍵で演奏でき、誰もが楽しく学べる教材となっている。

♪「サンシャイン ソラシドレモネード」 松長 誠 作曲

- ・全曲「ソラシドレ」で吹くことができ、自然と盛り上がる「A-B-サビ」の曲構成で作られている。長めの前奏で教師の言葉掛けがしやすく、タンギングの確認やレガート奏など、基礎技能を習得しつつ楽しく学べる教材である。

## 都小音研ホームページのご案内

今年度、ホームページの内容を一部リニューアルし、レイアウトの改良や会員専用ページの開設を行いました。都小音研では、昨年度から引き続き、業務の軽減や効率化を目指し、ICT化とペーパーレス化を推進しています。今年度より各種研の出張依頼手続きも電子化を進めており、皆さまのご協力のおかげで、ホームページを通じた出張依頼の配布が着実に進んでいます。

毎月の子定や理事会配布資料についても、ホームページのトップページで確認できるようにしています。これにより、交換便やFAXによる資料共有を削減し、必要な情報を迅速かつ簡単に共有できる環境を目指しています。

今後もホームページの活用を通じて、各種研や理事の皆さまの負担を軽減するとともに、研究の推進を図ってまいります。会員専用ページをさらに充実させ、研究内容の共有の場としても機能を強化していきたいと考えています。引き続き、都小音研のホームページをご活用くださいますようお願い申し上げます。

★都小音研ホームページ

<https://www.tosyouonken.com> または「都小音研」で検索



## NHK全国学校音楽コンクール結果

〈全国コンクール〉	【金 賞】 日野市立平山小学校 【銅 賞】 港区立白金小学校
〈関東甲信越ブロックコンクール〉	【金 賞】 日野市立平山小学校、港区立白金小学校 【銀 賞】 杉並区立四宮小学校
〈東京都コンクール本選〉	【金 賞】 杉並区立四宮小学校、日野市立平山小学校、港区立白金小学校 【銀 賞】 日野市立七生緑小学校、文京区立本郷小学校 【銅 賞】 目黒区立東山小学校

おめでとうございます

ブロックコンクール、全国コンクールの各校の演奏は、Nコンホームページ内の「Nコンon the web」で公開されています。

第67回

## 都小音研 研究大会

都小音研 研究主題

### 「山の手Aゾーン大会」

「つなげよう 深めよう  
生かそう 音楽の学びを」

山の手  
Aゾーン  
大会主題

自ら求め 共に高まり 学びをつなげる児童の育成  
～音楽的な見方・考え方を働かせた音楽活動を通して～

- ◆開催日 令和7年1月24日（金）
- ◆会場 ○午前の部（受付開始 8：50）  
会場1：文京区立本郷小学校 会場2：豊島区立西巣鴨小学校  
会場3：北区立袋小学校 会場4：板橋区立緑小学校  
○午後の部（受付開始 13：45） 会場：としま区民センター 多目的ホール
- ◆内容 【午前の部】 研究授業 各区小学校4会場で実施  
【午後の部】 全体会…研究発表 講評・講演  
講師：文部科学省 初等中等教育局視学官 志民 一成 先生



二次案内に記載された2次元コードまたは都小音研ホームページより、12月16日（月）まで申し込みを受け付けています。

申し込み人数が定員（午前の部は約100名、午後の部は200名）になりましたら、募集を締め切ります。

- ※午前中は4会場で実際の授業をご参観いただけます。
- ※参観される指導案は各会場配布いたします。その他の会場の指導案は都小音研ホームページからダウンロードしてご覧ください。大会当日配布される資料に記載された二次元コードからダウンロードすることもできます。
- ※防犯上の観点から、名札（職場で使用しているもの）の着用をお願いします。
- ※午前・午後とも受付は、参加していただく会場ごととなります。
- ※午前の部に参加される方は、上履きと靴袋をお持ちください。また、続けて午後の部に参加される方は、昼食を全体会前の移動時にお済ませください。
- ※資料代はいただきません。

## ♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈7月理事会〉7月5日（金） 於：新宿区立江戸川小

- 会長あいさつ
- 議事

- 8～10月の行事予定について
- 山の手Aゾーン大会について
- 第1回音楽作品発表会について
- 各部より

〈10月理事会〉10月17日（木） 於：千代田区立和泉小

- 会長あいさつ
- 議事

- 11～12月の行事予定について
- 山の手Aゾーン大会について
- 情報交換（カリキュラムマネジメントについて）
- 各部より

### 編集後記

各校での文化的行事に、地区によっては連合音楽会等もあり、音楽専科の先生方にとって目まぐるしい秋だったことと思います。本校も学芸会が終わったところです。慌ただしい毎日に疲れを感じていましたが、本番の子供たちの輝きに心が救われる思いでした。そして、子供たちの歌声がもつ力を改めて感じる事ができました。冬休みまであと一息、駆け抜けましょう！（Y）

### 会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会  
発行人：会長 山根 まどか  
編集：広報部  
印刷：タイヨ一美術印刷株式会社